

令和6年度中堅教諭等資質向上研修【後期】教科指導研修シラバス

中学校 社会科 教科指導研修

※ 愛知教育大学への交通手段については、後日送付する通知文を参照すること。

1 研修日程

(研修者：小学校41人、中学校48人)

| 期 日 | 時 間 | 研 修 内 容 | 会 場 |
|---|-------------------------------|--|--------------------------|
| 第1日 8月28日 (水) 午前11時まで 小中合同 午前11時から 前・後期 小中合同 | 9:00~ 9:30 | 受付<愛知教育大学 本部棟3階第1会議室> | 愛知教育大学 本部棟3階 第1会議室 |
| | 9:30~ 9:40 | オリエンテーション | |
| | 9:40~11:00 | 【講義：学習指導要領と社会科教育の在り方】 講師 大学准教授 | |
| | 11:00~12:00 | 【研究協議・演習：2学期実践授業の指導案検討①】 総合教育センター研究指導主事（2名） | 本部棟3階 第1会議室 第5会議室 |
| | 12:00~13:00 | 休憩 | |
| | 13:00~16:10 | 【研究協議・演習：2学期実践授業の指導案検討②】 講師 大学教授 大学准教授 総合教育センター研究指導主事（2名） | 本部棟3階 第1会議室 第5会議室 |
| 16:10~16:30 | 教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡 | 教育未来館3階 多目的ホール 講義室3A 講義室3B 講義室3C | |
| 第2日 10月4日 (金) 午前 小中高合同 午後 小中合同 | 9:00~ 9:30 | 受付<総合教育センター講堂前> | 総合教育センター 講堂 |
| | 9:30~ 9:40 | オリエンテーション | |
| | 9:40~12:00 | 【講義：社会科におけるカリキュラム・マネジメントの 在り方】 講師 大学准教授 | |
| | 12:00~13:00 | 休憩 | |
| | 13:00~16:10 | 【協議・演習：カリキュラム・マネジメントと授業づくり】 総合教育センター研究指導主事 | 多目的ホール |
| | 16:10~16:30 | 教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡 | |

2 連絡事項（課題等）

| | | |
|-----------------------|------------|--|
| <p>連絡事項 (課題等)</p> | <p>第1日</p> | <p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導学年の教科書及び指導書、資料集など ・以下のテーマ・単元で【前期】研修者が作成した指導案に対して助言する。参考になりそうな資料（過去の指導案、教材研究資料等）があれば持参して紹介してもよい（担当している学年のものだけでよい）。 <p>○ テーマ 「社会的な見方・考え方を意識した学習指導案」</p> <p>○ 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇中1 地理：世界の諸地域「アフリカ州」〈東書〉 世界の諸地域「アフリカ州」〈日文〉 ◇中2 地理：日本の諸地域「東北地方」〈東書〉 日本の諸地域「東北地方」〈日文〉 ◇中3 公民：現代の民主政治と社会 「地方自治と私たち」〈東書〉 私たちの生活と政治「くらしを支える地方自治」〈日文〉 <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし |
| | <p>第2日</p> | <p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導学年の教科書及び指導書、資料集など ・課題レポート10部 <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出課題 「カリキュラム・マネジメントを踏まえた単元構想の創造」 ※受講者名簿に記載した学年の内容で作成する。授業実践の有無は問わないため、仮想でも可。 ※特別支援学級を担当している場合は、在籍生徒のいる学年の中から選択して作成する。 ・課題様式 A4判縦長横書き。枚数は1枚（2ページになる時は両面印刷とする）。 ・提出方法 当日持参 10部（事前提出なし） |

3 課題様式（記入例）

令和6年度中堅教諭等資質向上研修【後期】▽教科指導研修▽中学校社会科

単元で重点的に育成を目指す資質・能力 ※複数も可

(例)

- 協働的問題解決能力 ○思考力 ○社会参画力 ○表現力
- 分析力 ○コミュニケーション力 ○資料活用力 など

※受講者名簿に記載した学年の内容で作成する。授業実践の有無は問わないため、仮想でも可。

| | |
|------|---------------------------|
| 受講番号 | |
| テーマ | カリキュラム・マネジメントを踏まえた単元構想の創造 |

1 ▽単元名「○○○○○○○○○○○○○○○○」

章立ては、自由。
必要に応じて変更してよい。

授業デザインの視点

- ①教科横断 ※複数も可
- ②地域（人材・素材）活用
- ③主権者教育
- ④消費者教育
- ⑤防災
- ⑥環境教育
- ⑦博物館・美術館等連携
- ⑧外部機関との連携
- ⑨福祉
- ⑩視聴覚教材・機器活用
- ⑪体験・調査活動

2 ▽構想

▽(1) ▽「単元で重点的に育成を目指す資質・能力」「授業デザインの視点」

- ・「○○○○」 ・「△△△△△△」

▽(2) ▽単元の目標

- ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (知識及び技能)
- ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (思考力、判断力、表現力等)
- ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (学びに向かう力、人間性等)

▽(3) ▽計画（全○時間完了）

(例)

| 時 | 学 習 活 動 | 教 師 支 援 |
|-----|--|---|
| 1 | ○新しい人権の概要について知る。 ・環境権 ・自己決定権 ・知る権利 ・プライバシーの権利 | ○新しい人権を身近に感じられるように、 <u>新聞記事⑩</u> を活用する。 ・愛・地球博の会場縮小と環境アセスメント ・マンション建築差し止め仮処分を幼稚園が申し立て |
| 2～4 | ○自己決定権について考える。 ・臓器移植の現状を知る。 ・臓器提供意思表示カードのコピーを活用して、自分の意志について考える。 ・臓器移植の今とこれからについて自分の考えをまとめる。 | ○専門的な内容を理解しやすくするために、 <u>日本臓器移植ネットワークの訪問学習⑧</u> を活用する。 ○臓器移植の是非ではなく、自己決定の大切さに目が向くような展開を心がける。 ○国語科「論理の展開を考える」①をこの時期に実施し、意見文を作成する。 |
| 5 | ○情報化の進展と人権について考える。 ・知る権利と情報公開制度 ・インターネットと人権 ・プライバシーの権利と個人情報保護制度 | ○ <u>道徳科の情報モラル教材①</u> を同時期に実施する。 ○「見方」「考え方」を働かせるために、有名タレントのプライバシーと表現の自由について「当事者」「出版社」「読者」の視点を示し、視点によって優先されるものに変化があるか考えられるようにする。 |

「授業デザインの視点」に関わる部分に下線を引く。

3 ▽評価

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

- (注)・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。
- ・A4判縦長横書き。枚数は1枚（2ページになる時は両面印刷とする）。
 - ・字の大きさは、10.5ポイント。
 - ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。

4 問い合わせ先

担当 研修部企画研修室（伊藤）
電話 0561-38-9507（ダイヤルイン）